

# 第1章 計画策定にあたって

---

- 1 計画策定の背景と趣旨
- 2 計画の位置づけ
- 3 計画の期間
- 4 計画の策定体制
- 5 SDGs との関連

# 1 計画の背景と趣旨

ライフスタイルや食生活の変化、高齢化の進行などにより生活習慣病の増加やその重症化などが問題となっています。令和2年（2020年）からの新型コロナウイルス感染症の流行は、社会経済活動や健康行動にまで大きな影響を及ぼしました。平素からの万全な健康危機管理が求められるとともに社会構造の変化に伴う健康格差の拡大が懸念されています。

生活習慣の変化等により、「食」を取り巻く環境は大きく変化しており、健全な食生活や多彩な地域の食文化が失われつつあることが危惧されるなど、さまざまな課題が生じています。

## （1）国・大阪府の動き

### ① 健康づくりに関する動き

【国】平成12年（2000年）に「健康日本21」が策定され、国民運動として健康づくりを推進してきました。現在は、令和5年（2023年）に「健康日本21（第三次）」を策定し、「全ての国民が健やかで心豊かに生活できる持続可能な社会の実現」というビジョン実現のため、健康寿命の延伸・健康格差の縮小、個人の行動と健康状態の改善、社会環境の質の向上、ライフコースアプローチを踏まえた健康づくりの4つを基本的な方向として、目標を示しています。

【府】平成20年（2008年）に「大阪府健康増進計画」が策定され、現在は、令和6年（2024年）に策定した「第4次大阪府健康増進計画」において、「健康寿命の延伸」と「健康格差の縮小」を基本目標に掲げ、生活習慣病の発症予防、生活習慣病の早期発見・重症化予防、生活機能の維持・向上、府民の健康づくりを支える社会環境整備、ライフコースアプローチ<sup>※</sup>の5つの基本方針をもとに取り組みの方向性と目標を示しています。

※ライフコースアプローチ…胎児期から高齢期までの生涯を通した健康づくり

### ② 食育に関する動き

【国】平成18年（2006年）に「食育推進基本計画」が策定され、国民運動として食育を推進してきました。現在は、令和3年（2021年）に策定した「第4次食育推進基本計画」において、食育の推進に関する基本的な方針や目標を示しています。

【府】平成19年（2007年）に「大阪府食育推進計画」が策定されました。現在は、令和6年（2024年）に策定された「第4次大阪府食育推進計画」において、健康的な食生活の実践と食に関する理解の促進、食育を支える社会環境整備に関する取り組みの方向性と目標を示しています。

## （2）本市の取り組み

本市では、平成26年（2014年）に「交野市健康増進計画・食育推進計画」を策定しました。現在は、平成31年（2019年）に策定した「交野市健康増進計画・食育推進計画（第2期）」において「健康寿命の延伸」を全体目標に掲げ、市民一人ひとりが、健康づくりと食育推進に自主的に取り組むことができるよう、さまざまな取り組みを行ってきました。前計画が令和6年度（2024

年度)に終了するため、取り組みの評価を行うとともに、近年の社会動向や国・府の動向を踏まえ、「交野市健康増進計画(第3期)」(以下、「本計画」という。)を策定します。また、食育推進分野は健康増進計画の重要な一分野であることから、交野市健康増進計画に食育推進計画を内包し、一体的に策定します。

## 2 計画の位置づけ

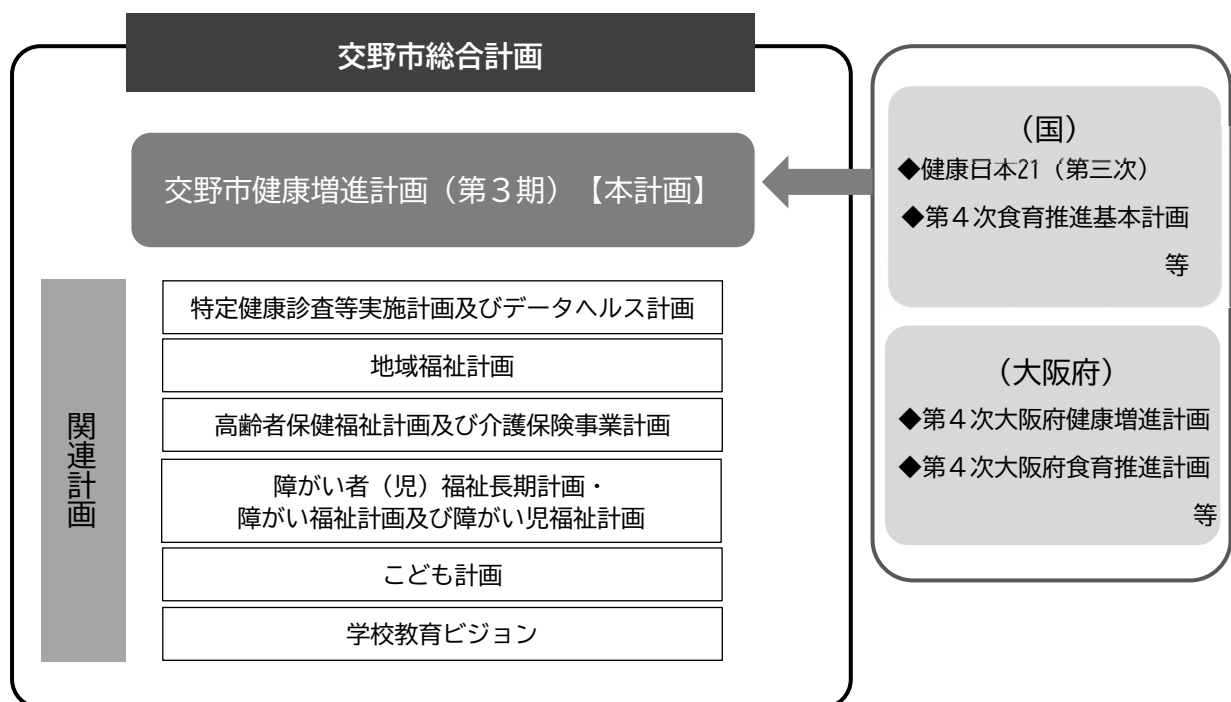
### (1) 法的根拠

本計画における「健康増進計画」は、健康増進法第8条第2項に基づく「市町村健康増進計画」、「食育推進計画」は、食育基本法第18条に基づく「市町村食育推進計画」として策定するものです。

### (2) 他計画との関連性

本計画は、市民の健康づくりについて、市民、地域、行政などが一体となって推進するための計画で、本計画を構成する「健康増進計画」、「食育推進計画」は、市政の基本指針となる「交野市総合計画」の分野別の個別計画として位置づけます。策定にあたっては、「交野市総合計画」をはじめ、市のその他の関連計画との整合性を図るものとします。

#### ■上位・関連計画における位置づけ



### 3 計画の期間

本計画は、令和7年度（2025年度）から令和18年度（2036年度）までの12年間を計画期間とします。ただし、今後の国内外及び市政を取り巻く社会状況の変化に対応するため、必要に応じて見直しを行うものとしします。

### 4 計画の策定体制

#### （1）健康づくり推進委員会

計画の策定にあたって、保健医療関係者や学識経験者、市民公募委員からなる「交野市健康づくり推進委員会」において、計画内容の審議を行いました。

また、「交野市健康増進計画・食育推進計画（第2期）」に掲げている数値目標等の評価を行いました。

#### （2）健康増進・食育推進委員会、専門部会

庁内の課長級以上の職員15人で構成する「交野市健康増進・食育推進委員会」並びに、関係課の課長代理以下の職員等で構成する「専門部会（健康増進部会・食育推進部会の2部会）」を設置し、計画の検討と調整を行いました。

#### （3）市民健康意識調査（以下、市民アンケート）

乳幼児の保護者、小学5年生、中学2年生、16～18歳、成人（18歳以上）に対して、アンケート調査を行い、本市の健康づくりや食育に対する現状及び市民の意識の把握を行いました。

○調査期間：令和6年（2024年）2月上旬～2月下旬（3週間程度）

調査対象※	配布数	配布方法・有効回収数 ( )は回答手法	有効回収率
① 18歳以上（成人）	2,100	郵送配布・627（郵送）+103（WEB）=730	34.8%
② 16～18歳 （高校生相当年齢）	1,500	郵送配布・245（郵送）+138（WEB）=383	25.5%
③ 中学2年生 （市立中学校）	636	直接配布・275（学校回収）+172（WEB）=447	70.3%
④ 小学5年生 （市立小学校）	671	直接配布・323（学校回収）+200（WEB）=523	77.9%
⑤ 乳幼児の保護者	384	WEB回答案内配布・81（WEB）	21.1%
全体	5,291	2,164	40.9%

※調査対象の構成

- ①10代を除き、10歳刻みに各年代から無作為抽出
- ②各年齢から無作為抽出
- ③全数調査
- ④全数調査
- ⑤調査期間中の乳幼児健診対象児の保護者の全数

#### (4) 関係団体ヒアリング調査

健康づくりや食育推進にかかわる地域団体や企業に対してヒアリング調査を行い、健康づくり・食育推進に関する活動状況を把握するとともに、今後の方針や課題などを聞き取りました。

○調査期間：令和6年（2024年）5月～6月

調査団体	交野市民生委員児童委員協議会、元気アップメイト、交野・畷・大東地域活動栄養士会、健康リーダー（歩く歩く隊含む）、Kid'sサポート☆かたの、校区福祉委員会、交野市商業連合会、健康経営優良法人2024認定企業（6社）
調査方法	アンケート用紙を配布・回収、必要に応じて聞き取り調査

#### (5) パブリックコメント

本計画の策定にあたり、意見聴取のためホームページ等において計画案を公表し、市民等の意向を広く反映させることを目的とするパブリックコメントを実施しました。

○調査期間：令和6年12月16日（月）～令和7年1月15日（水）

## 5 SDGs との関連

SDGsとは、持続可能な社会をつくるための国際社会共通の目標です。平成27年（2015年）の「国連持続可能な開発サミット」において採択され、令和12年（2030年）までに持続可能で、よりよい世界を目指す国際目標として17のゴールと169のターゲットを定めています。

SDGsが掲げる「誰一人取り残さない社会」の実現という理念は、本計画が目指す市民の健康増進の推進において、全ての市民が元気で生きがいのある生活をおくり、健康寿命をさらに延ばすという考えと一致しています。特に「目標3 あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する」「目標11 包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する」「目標17 持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する」との関連性は非常に深く、本計画全体を通じて、この目標の実現に向けて取り組んでいきます。

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



資料：国際連合広報センター